〝本でつながるプロジェクト〞トークイベント 2026

入場無料





『地球の歩き方 足立区』から
ひもとく



足立の魅力と本のある風景

好評発売中！

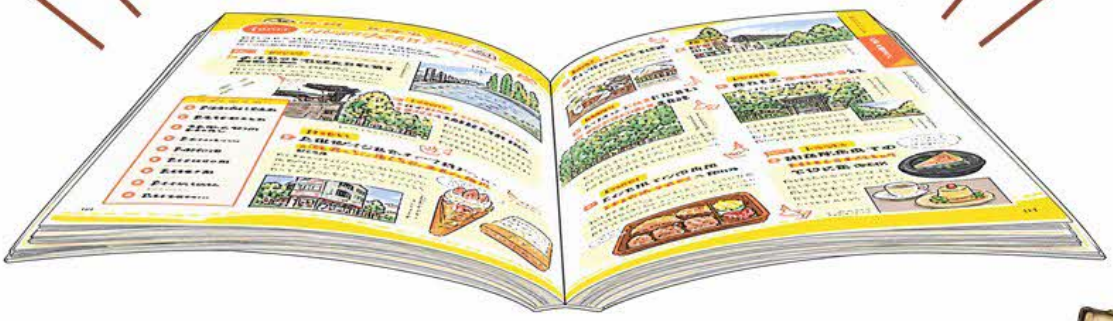


発行：（株）地球の歩き方
発売：（株）Gakken

今秋、『地球の歩き方 足立区』が発売され、
ひときわ熱い注目を集める足立区。

さらに千住では、本好きさんの間で話題の
「一箱古本市」開催に向け、
着々と準備が進行中。

そこでこのたび、「足立区の歩き方」と
「千住で一箱古本市を始める理由」の2本立てで
スペシャル・トークショーを開催！



2026年
11月22日(日)
14:00~16:00

会　場　学びピア21　4階・講堂
足立区千住5-13-5

同時開催



誰でも気軽に参加できるフリーマーケット型の古本販売イベント

本つな「ミニ一箱古本市（ひとはこ）」
① 13：00~14：00
② 16：00~17：00

参加申し込み方法と詳細は裏面へ！

本でつながるプロジェクト トークイベント

『地球の歩き方 足立区』からひもとく

足立の魅力と本のある風景

トークイベント

第1部
14：00～15：00

『地球の歩き方』編集室に訊く！

足立区の歩き方

「地球の歩き方」のプロデューサーが登場！ 編集者から見た足立のポテンシャルや謎が解き明かされる?! ここでしか聞けない取材秘話や編集室の裏話が飛び出すかも。知られざる足立の魅力を語っていただきます！

『地球の歩き方 足立区』
プロデューサー
日隈 理絵さん



ハワイや韓国などの「地球の歩き方」を中心に、「aruco」や国内シリーズの編集、新シリーズの立ち上げも行う。埼玉県草加市の出身で、子どもの頃から初詣は西新井大師、買い物は北千住で育ってきた生粋の「足立区ラバー」

［ファシリテーター］
ライター・編集者
南陀楼 綾繁さん



谷中・根津・千駄木で一箱古本市を開催する「不忍ブックストリート」前代表。著書に『「本」とともに地域で生きる』(大正大学出版会)、『書庫をあるく』（皓星社）、新刊『本のある場所を訪ねて』(教育評論社)などがある

第2部
15：00～16：00

本を通してまちづくり ～千住で一箱古本市を始める理由～

全国の開催事例を紹介しつつ一箱古本市の運営者とともに「千住でやるならどこで、どんなふうにやりたいか」など、本と千住のまちについて語り合います。

みかも一箱古本市
町田 恵美子さん



世田谷区奥沢にある私設図書室「読書空間みかも」での一箱古本市を偶数月第3日曜日に実施。12月20日には第70回を迎える。イベントではちいさなちいさな古本市でのエピソードを語る

千石ブックメルカード
松本 貴子さん



文京区千石の一箱古本市「千石ブックメルカード」の主催・実行委員長。普段は出版社で働く書籍編集者で、「不忍ブックストリート」での助っ人経験を経て千石エリアの一箱古本市発起人に

同時開催イベント

本つな「ミニ一箱古本市」
① 13：00～14：00
② 16：00～17：00

経験豊富な一箱古本市の店主たちと、区内図書館から来たひよっこ店主たちが、小さな一箱古本市を開催します。トークの前後にのぞいてみてください。

一箱古本市とは？

参加者は段ボール箱ひとつ分の古本を持ち寄り、値段を付けたりディスプレイを工夫したりしながら、一日だけの“本屋さん”を体験できます。どんな本をいくらで売るかは参加者の自由。本を通じて生まれる人との交流が大きな魅力です。



◎不忍ブックストリート実行委員会
※写真はイメージです

「本でつながるプロジェクト」とは？

本をきっかけに人や活動の“つながり”を育む、足立区立図書館の取り組み。「一箱古本市」の令和9年度開催に向けた準備や、区民が図書館の一角に自分で選んだ本のコーナーを作る「足立ひとはこ図書館」、本に関する区内の拠点を可視化する「本でつながる拠点マップ」の作成などを進めています。

トークイベント参加申し込み

オンライン申請または電話／定員200名（先着順、空きがあれば当日参加も可）

参加申し込みはこちら

足立区立中央図書館　利用サービス係　☎ 03-5813-3742（平日 9:00~17:00）